



運転するとき

冠水路の走行はダメ！

浸水・冠水すると火災のおそれも！

クルマが浸水・冠水すると、エンジン破損など重大な故障につながります。また、海水に浸かると車両火災が発生するおそれがあります。



！ 冠水した道路は走行しないでください。大雨などでクルマが浸水・冠水した時は、すみやかに販売会社に連絡してください。

冠水した道路や深い水たまりなどは、走行するとエンスト、電装品のショート、エンジン破損など故障の原因になります。また、海水による浸水・冠水の場合、海水には電気を通す性質があるため、電気系統のショートにより車両火災が発生するおそれがあります。

For Safety

安全のポイント



冠水時は迂回する

POINT 01

冠水した道路は走行しない！

冠水した道路や深い水たまりなどは、走行しないでください。エンスト、電装品のショート、エンジン破損など故障の原因になります。

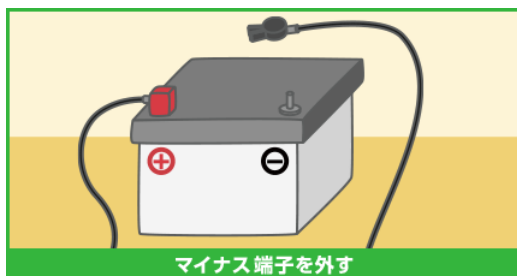


エンジンはかけない

POINT 02

クルマが浸水・冠水したら、販売会社にすぐ連絡を！

大雨などで、クルマが浸水・冠水してしまった時は、すみやかに販売会社で点検を受けてください。たとえ水が引いても絶対にエンジンをかけないでください。電気自動車、プラグインハイブリッドEVは、システムを起動しないでください。



マイナス端子を外す

POINT 03

ガソリン車はバッテリーのマイナス端子を外す。

クルマが浸水・冠水してしまった時は、バッテリー端子のマイナス側を外してください。特に海水による浸水・冠水の場合、海水には電気を通す性質があるため、電気系統のショートにより車両火災が発生するおそれがあります。なお、端子を外す前に、必ずエンジンスイッチを切ってください。

三菱自動車お客様相談センター

0120-324-860

オープン時間：9時～17時（土日祝・弊社休日 9時～12時・13時～17時）
※050～で始まる番号など、一部のIP電話からはつながらない場合がございます。